

ナース通信

【令和2年3月16日発行（第7回）】

埼玉県立病院看護職員内定者の皆さん、こんにちは！
病院局経営管理課 企画担当の高橋陽子です。



「ナース通信」もいよいよ第7号となり、最終号です。
今年は春が早く、皆さんの入職を前に、だいぶ暖かい日が多くなりましたね。
皆さんはいま、どのようにお過ごしですか？

全国で新型コロナウイルス感染が発生しています。埼玉県内の状況も日々変化していますね。いま私達ができる事は、うつらない、うつさない、を心掛け、基本的な手洗いや環境整備などを実践することです。そして、体調を崩さないよう、元気に過ごしましょう！



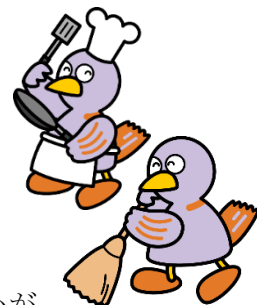
※先輩看護師は今・・・

皆さんの1年先輩である令和元年度入職の皆さんは、2月から3月に1年間を振り返り、フォローアップ研修で看護技術の習得を皆で確認したり、2年目に向けた課題を明確にしていけます。そして皆さんの良き先輩看護師として、皆さんが入職するのを心待ちにしています。

※新しい生活への準備は大丈夫ですか

もうすぐ社会人としての日々が始まりますね。学生時代とは違い、看護師としての毎日は、新たな出会いや学びの連続です。特に新たな生活、一人暮らしが始まる方にとっては、慣れない毎日の繰り返しかもしれません。

そこで、衣食住を整えること、生活に少しずつ慣れておくのはいかがでしょうか？特に、一人暮らしを行う方は自炊を少し試してみる、掃除や洗濯を行うなど、今から新しい生活に向けて少し経験してみることで準備ができるのではないのでしょうか？頑張ってくださいね！



※4月から県立病院の一員として・・・



こちらの写真の方は、

岩中 督 埼玉県病院事業管理者です。

県立病院事業に関する統括を行っている方になります。普段は、この写真のように穏やかで、現在も定期的に小児医療センターで診療に携わっていらっしゃいます。現場でもお会いすることがあるかもしれませんね。

岩中管理者をはじめ、病院局経営管理課そして県立病院の職員の方々全てが、皆さんと一緒に勤務できるのを楽しみにしています。

4月1日、笑顔で会いましょう！